

令和4年度高齢者権利擁護・身体拘束廃止新任職員研修

研修意見まとめ

実施日 第1回 6月27日(月) 28日(火)

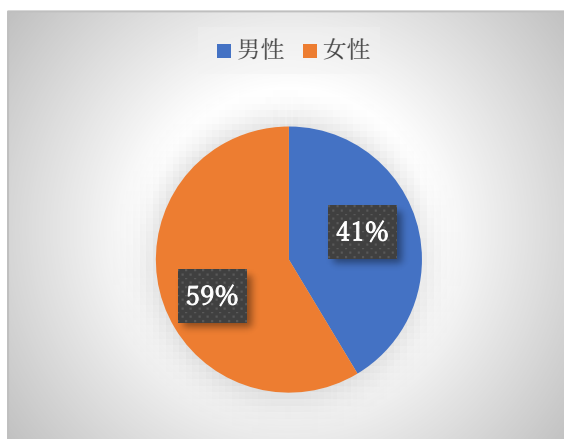
第2回 7月25日(月) 26日(火)

第3回 8月22日(月) 23日(火)

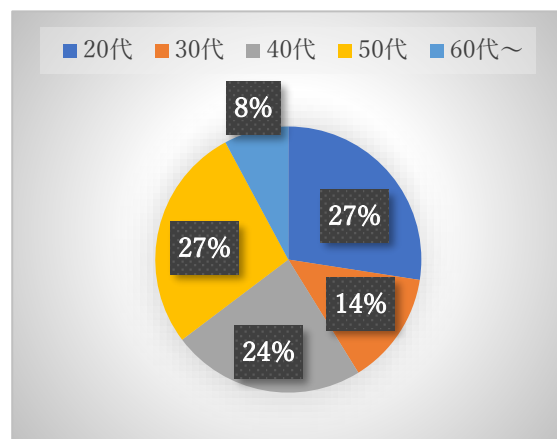
場所 千葉市美浜保健センター

受講者数(修了証書発行者) 第1回33名 第2回22名 第3回10名 計65名

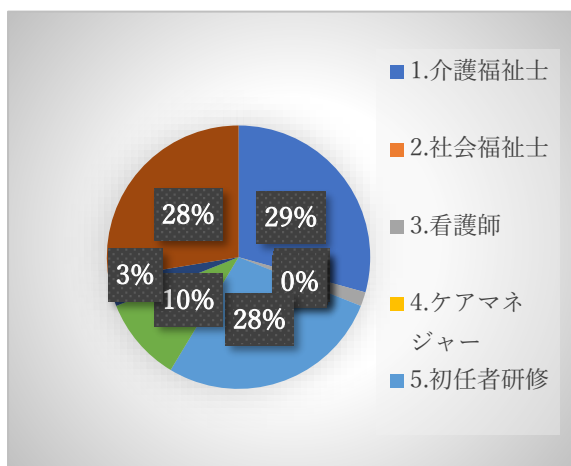
1. 受講者(男女比)



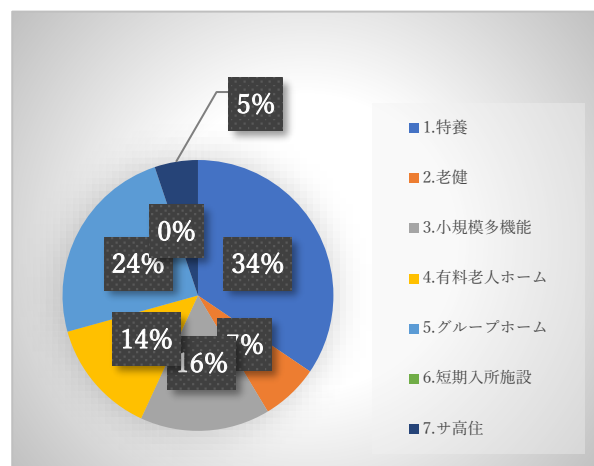
2. 受講者年齢



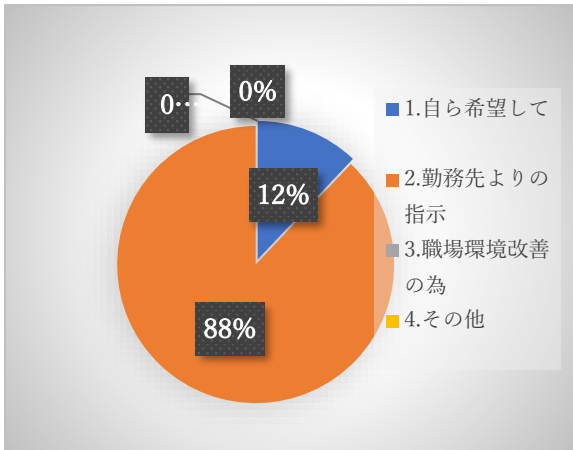
3. 所有資格(複数回答)



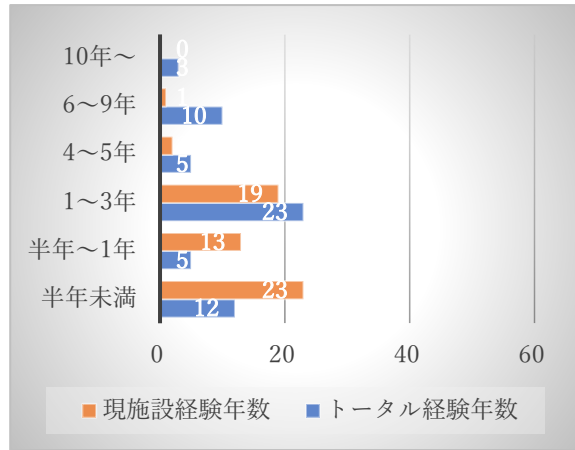
4. 施設形態



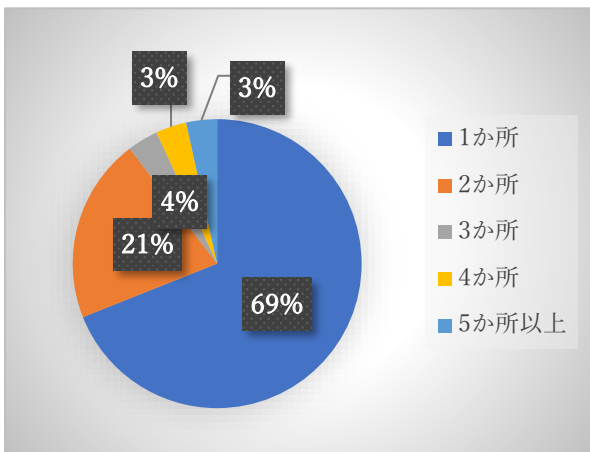
5. 受講動機



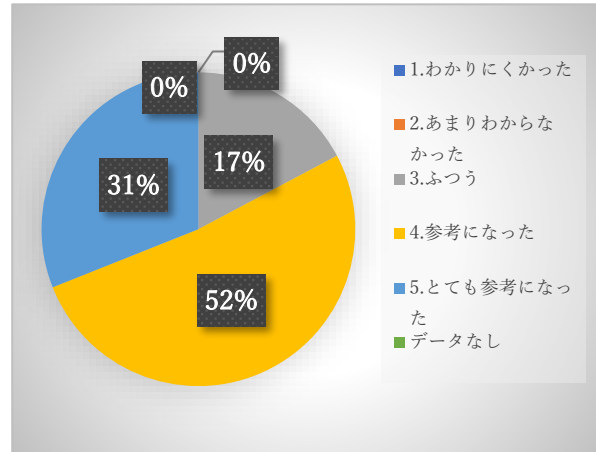
6. 受講者介護職経験年数



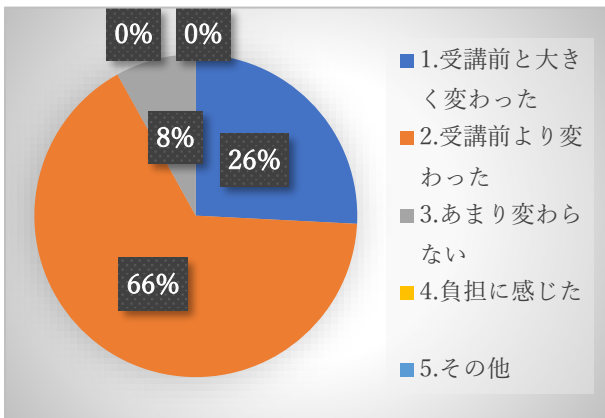
7. 経験施設数



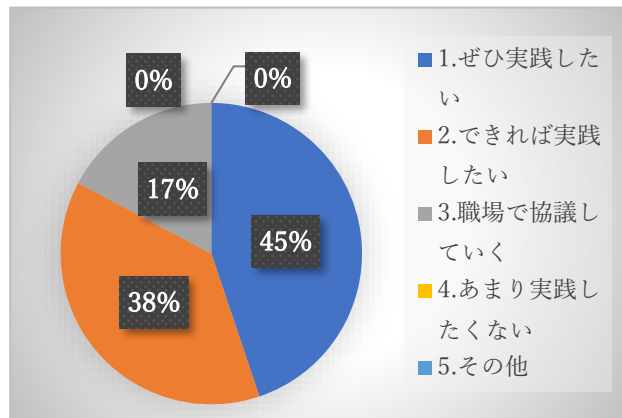
8. 講義内容の理解



9. 意識改革



10. 今後の活かし方



研修全体の意見、感想について

- ・研修に参加し今後の業務、支援に繋げていきたいという意見が多数であり、消極的な意見はなかった。実際に施設で身体拘束を行っていることに疑問を感じておらず、今回の研修を通して身体拘束の弊害やリスクについて学ぶ事ができたという意見もあった。
- ・リスクマネジメントや権利擁護、チームアプローチなどが身体拘束と近い位置にあることは知らなかった、気づいてはいたが、研修を通して深く知ることが出来たという意見もあった。
- ・昨年度まではグループワークの実施について消極的な意見が多かったが、今年度は数名のみであった。むしろ、座学だけではなくグループワークをもっと行いたかったという意見は昨年度より多かった。
- ・スライドの資料と配布資料に違いがありわかりにくい箇所があったと意見あり。ただ、挙げたのは1名だけだったので、実際に資料に不備があったのかは不明。
- ・経験年数が浅い受講者が多く、「時間に余裕がなく、きつい口調で話していた」「ちょっとまって」「ダメ」と制止するスピーチロックを当たり前のように使用していたという意見があった。また、先輩がやっているからいいと思っていた、身体拘束になるということが教わっていなかったという意見もあった為、施設によって身体拘束に対する考えや対応に違いがあることがわかった。

感染対策、委員について

- ・検温の方法や感染対策については、参加者からの指摘はなかった。昨年度、委員の話し声が気になってしまったという意見があったが、今年度は聞かれていない。
- ・マイクの音量や、照明委員に伝えた際にすぐに調節してくれたと記入してあった。

講師について

- ・丁寧な説明や、自身の経験も含めながら講義をして頂けた為、わかりやすかった。共感できたという意見が多かった。
- ・声が小さい、内容が重複していたという意見も数名あったが、特定の講師に対して意見が集中していたわけではなかった。

【報告者】

特定非営利活動法人 千葉市老人福祉施設協議会
事業推進委員会受託事業部会
高齢者権利擁護・身体拘束廃止委員会